



令和5年度 結核通信

複十字シール運動キャラクター シールぼうや

八戸市保健所 保健予防課

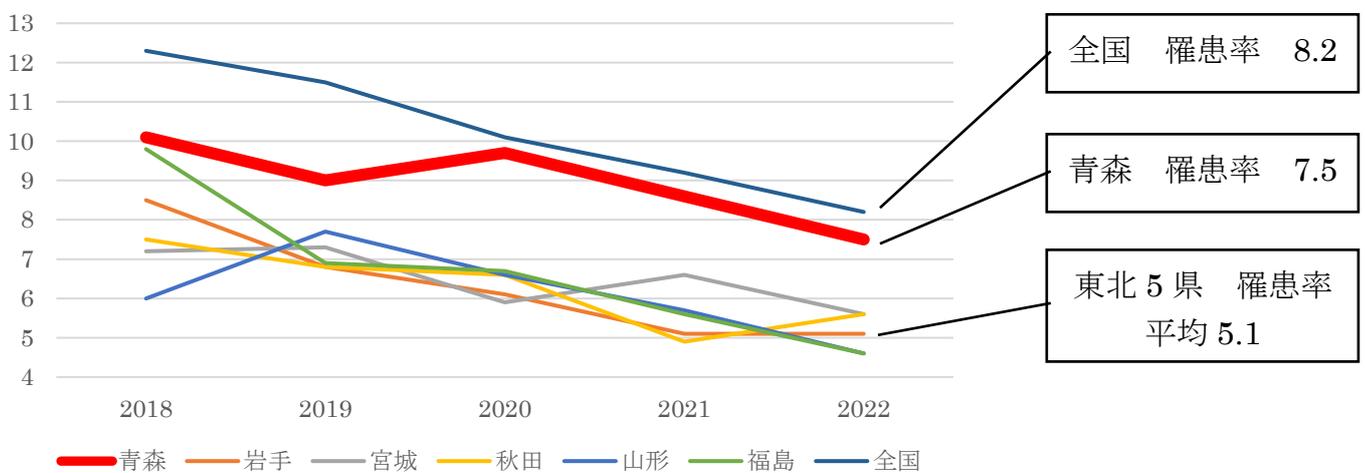
TEL 0178-38-0716

FAX 0178-38-0736

平素より、保健所の結核対策の推進につきましては、ご協力とご理解を受け賜りましてありがとうございます。結核は昔の病気と思われがちですが、R4年では、全国で10,235人の患者が発生し、1,664人が死亡している、今でも日本の主要な感染症の一つです。今後、結核対策にご理解いただき、結核について知る機会となるよう「結核通信」をご活用ください。

1. 八戸市の結核患者の状況

結核罹患率（人口10万人対）



上のグラフの通り、青森県の結核罹患率は年々低下しており、全国よりは低いものの、東北6県の中では最も高い位置で推移しています。

また、下のグラフを見ると、全国、八戸市ともに70歳以上の結核患者が約6割、60歳以上だと約7割を占めており、結核対策において高齢者への対応が課題となっております。

年齢階級別（R4年）



60歳以上

- ・八戸市 68.8%
- ・全国 74%

70歳以上

- ・八戸市 62.2%
- ・全国 64.9%

2. 高齢者の結核

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。結核菌の混ざったしぶきが咳やくしゃみと一緒に空気中に飛びちり、それを吸うことによって感染します（空気感染）。

症状は風邪と似ています。下記に当てはまる症状があるときには早めに受診しましょう。

- 咳・熱が2週間以上続いている
- 痰がでる
- 身体がだるい
- 体重の減少



高齢者は咳症状がないことも…

上記に挙げた症状は結核を疑う症状ですが、高齢者の中には、咳や痰、熱などの自覚症状がないことも多く、また、定期的に通院している（医師に診てもらっている安心感）ことから結核と気づかずに症状が進んでしまうことがあります。症状が進行するにつれ、感染拡大の危険性が高まります。

高齢者は、過去に結核が流行していた頃に感染している方が少なくありません。感染しているだけの状態であれば、症状もなく、人にうつす心配もありません。しかし、加齢や基礎疾患による免疫の低下にともなって発症してしまう可能性があるため、気を付けなければなりません。

高齢者の結核を早期発見するには



- ・ サービス利用開始時の健康チェック：既往歴や治療中の病気を確認しましょう。
- ・ 定期健診で健康チェック：健康診断が義務ではない施設も、定期的な健康チェックは大切です。
- ・ 日頃の健康チェック：咳や痰以外の主な症状にも気をつけましょう。
→ 何となく元気がない・微熱・倦怠感・体重減少・呼吸のしづらさ・胸痛・尿路感染(免疫低下)

- ・ 年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう。
- ・ 利用者の健康管理で気になったときは、速やかに医療機関を受診してもらうことが大切です。
医療機関での検査（喀痰検査等）が結核の早期発見に繋がります。

Q&A だから
わかりやすいよ



☆こちらも参考にご覧ください。

結核研究所 『介護職のあなたに これだけは知ってほしい 結核のこと』

https://jata.or.jp/dl/pdf/outline/support/Care_worker_color.pdf